

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標					作成日	R7.4.1		
組織名(部)	会計管理者	組織名 (準部・課・機関名)	会計課								評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	財務規則に基づく会計検査の実施	実施	実施	コンプライアンス・内部統制の推進	書面及び実地により会計検査を実施し、適切に事務執行がなされているか確認するとともに、不適切事例があった場合は、再発防止に向け、改善事例の周知や研修等を実施する。	○	財務規則に基づく会計検査について、書面審査の結果、現地確認が必要と判断した所属について、実地検査を行いました。所属が、普段どのような流れで事務を遂行しているか、実際に確認し、不適切な事務については、是正するよう指導しました。また、1月末には、再発防止のため、検査結果を庁内に周知しました。そのほか、階層別研修等の機会を捉えて、適正な事務の執行に努めるよう指導しました。	引き続き、事務ミスや不正の発生防止について啓発に努めます。
2	支払事務の迅速化及び効率化に努めます。	行財1-1-①	支払遅延所属数が前年度以下	69所属以下	R7 66所属	コンプライアンス・内部統制の推進	支払事務の迅速化と債権者等への支払遅延防止について、各種研修で重点的に注意喚起を行い、庁内掲示板など様々な機会を通じて指導の徹底を図る。	○	掲示板での啓発を強化し、「会計通信」や「そもそもすぎる会計実務の話」などの啓発チラシを庁内掲示板で周知し、比較的時間を空けずに発行しました。簡潔で分かりやすく、かわいらしいイラストを効果的に使用し、職員間でも話題になるなど、かなり反響がありました。指標結果については、支払事務の遅延所属数及び件数ともに前年度より減少し、目標を達成しました。監査委員事務局との定期的なミーティングについても、継続して実施し、情報を共有しました。	引き続き、支払事務の遅延所属数が前年度以下になるよう、支払い事務の迅速化について指導の徹底を図り、不適切な事務の執行が減少するよう周知に努めます。
			支払遅延件数が前年度以下	222件以下	R7 202件					
3	支払事務の迅速化及び効率化に努めます。	行財1-2-①	事務改善案の検討及び実施	実施	実施	事業のあり方、やり方の見直し	公金取扱手数料の抑制に向けて、事務改善案を検討・実施する。	○	公金取扱手数料の抑制に向けた啓発チラシを作成し、庁内に周知しました。簡潔で分かりやすく、具体的に数字を示すなどの工夫をしました。積極的に手数料抑制に取り組む努力をしている所属も見られ、啓発の効果はあったと実感しています。また、財務会計システム等においても、削減できる手法があるか検討を始めたところです。	引き続き、財務会計システムによる手数料削減対策や、紙帳票による支払いを減らす取り組みについて、検討していきます。
4	内部事務の集約化や効率化を行い、デジタル技術を積極的に活用し、デジタル社会の実現に向けた取組を進めます。	行財1-3-①	自治体DXの推進	実施	実施	事業のあり方、やり方の見直し	市税等の口座振替のデータ伝送やeL-QRIによる公金収納の対応など、公金取扱事務のDXに引き続き取り組む。	○	関係課と指定金融機関と協議を重ね、10月から、各課収納金の口座振替をデータ伝送に切り替えました。そのほか、eL-QRIによる公金収納の対応についても、国の通知や政令市の情報を収集するとともに、関係課やSE等と協議をしながら進めており、公金取扱事務のDXの推進に努めました。	引き続き、公金取扱事務のDX推進に努めます。